

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立加茂小学校		
学校長氏名	藤井 義則	栄養教諭氏名	木村 公香
職員数	55名	児童・生徒数	641名

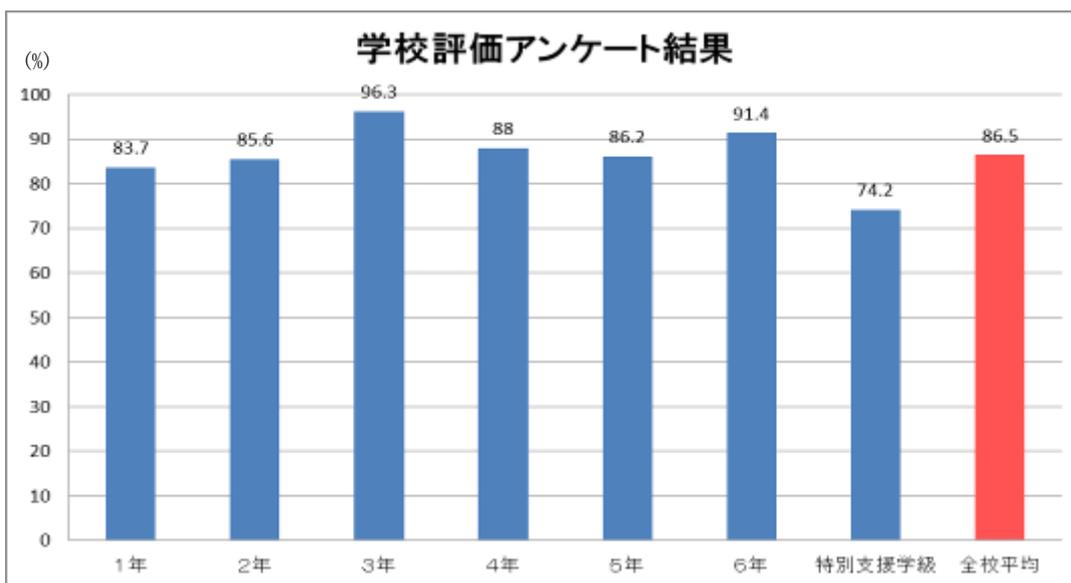
1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 昨年度達成目標 … 食事づくりの手伝いを週に一回以上する児童を 80%以上
- 昨年度結果 … 児童が週に一回以上家庭で、食事づくりのお手伝いをしている 78.8%
- 達成目標の課題 … 食事づくりのお手伝いをする児童が増えてきたが、80%に達していない。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

学校評価 市民から信頼される学校 保護者とともに

- ・めざす子ども像 … 食に関心を持つ子ども
- ・達成目標 … 食事づくりの手伝いを週に一回以上する児童 80%以上
- ・学校評価 … 保護者アンケート



3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）教科における食に関する指導の充実に向けた取り組みについて

【3年生】 社会科 「今に残る昔のくらしのうつりかわり」

火をおこして七輪で、大豆を煎りきな粉を作る体験学習を行った。煎った大豆を石臼で、きな粉にする作業は、児童たちも興味をもち、協力していた。国語科「すがたを変える大豆」の授業を思い出しながら、意欲的に取り組むことができた。

【5年生】 家庭科 「食べて元気！ごはんのみそ汁」

毎日の食生活を振り返らせ、五大栄養素について指導を行った。給食を取り上げ、だしについて説明し、調理実習を行った。



【特別支援学級での調理実習】

調理器具の適切な使い方，旬の食べ物について指導を行った。また，食物アレルギーをもつ児童のクラスに積極的に参加し，誤食が起きないように取り組んだ。

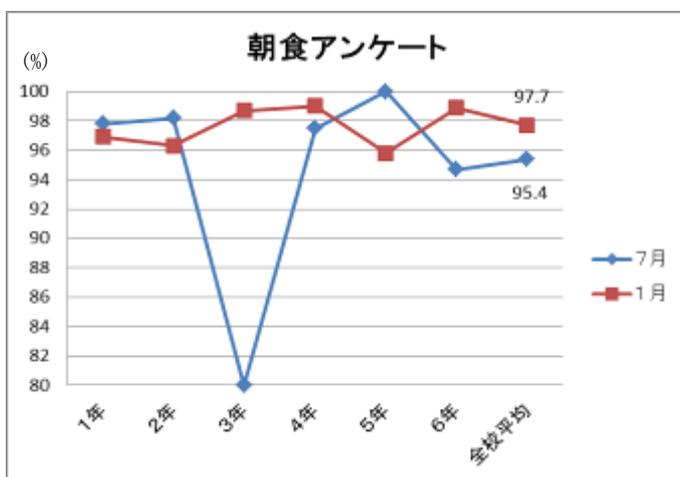
【ミニ保健】

各学年，特別支援学級に応じて間食の取り方，よく噛んで食べることについて養護教諭とともに指導を行った。

【給食時の指導】

年間計画に沿って，指導を実施した。また，2学期より加茂中学校と親子方式での中学校給食が始まったため，中学校においての配膳指導等を行った。

【取組2】(テーマ) 朝食の取り組みについて



- ・給食試食会での1年生保護者への啓発。
- ・7月全校平均が95.4%，1月97.7%であった。
- ・アンケートを実施することにより，朝食内容の改善にも繋がった。
- ・給食委員会の活動で，朝食の大切さ，バランスの良い食事について各学級に働きかけた。
- ・ランチルームでの指導を充実させるために，掲示物を作成して指導を行った。

【取組3】(テーマ) 地域との連携，学校菜園の取り組み

○地域との連携

- ・校区内のスーパーマーケットに給食レシピを配置。

○学校菜園

- ・玉ねぎ，にんにく，プチトマト，かぼちゃ，ピーマン，さつまいもを育て，給食の一部として活用した。
- ・給食委員会で，土づくり，種の植え付け，水やり，収穫をした。
- ・コンポストを利用し，残菜を肥料にして使用した。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・全職員に周知し、食数のカウントを実施した。
- ・夏休み子ども料理教室にて、ひろしま給食の献立を取り入れた。簡単でおいしく作ることができ、家庭でも実践するように伝えることができた。
- ・「健康ふくやま 21」で今年度最優秀レシピ「タコタコライス」の試食、レシピを配布するなどの啓発活動を実施した。
- ・スーパーマーケットへのポスターや啓発資料・レシピを置かせていただき、啓発を図った。
- ・ひろしま給食のレシピ等を家庭に配布し、保護者に周知した。
- ・各学級と校内へポスターや掲示資料を掲示、給食時間にひろしま給食について校内放送をした。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- 学校評価「家庭で食事作りのお手伝いが週一回以上する児童 80%以上」
 - ・約 90%の児童がお手伝いをしている。学年に応じたお手伝いができ、自ら進んでお手伝いができる児童が多くいた。保護者が声かけをして、お手伝いをする児童も多い。
 - ・2 学期より親子方式での中学校給食が始まり、給食時の配膳指導等を通して、中学校との連携がうまくとれている。
 - ・アンケートを実施することにより、朝食を食べることが定着し、朝食の欠食率が下がった。

【課題】

- ・平日には食事作りのお手伝いは難しいと感じている家庭も多くある。
- ・1 学期と比較し、お手伝いをしない児童が増えた学級もあり、簡単なお手伝いをできるように指導していく必要がある。
- ・専門的な知識を生かした、食に関する指導の充実させる必要がある。
- ・朝食内容について、保護者に啓発活動を行っていく必要がある。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・平日は配膳など短時間で出来るお手伝い、休日など時間に余裕のある時は食事づくりに取り組むなど、できることからお手伝いをしていくことを定着させる。
- ・教務主任、担任、養護教諭と連携を深め、食に関する指導の時間を増やし、より充実した指導を行っていく。
- ・給食だよりや食育通信等を通して、保護者に情報を発信し、啓発する。